

「道の駅」の防災機能強化について

1. 防災対策の取組状況
2. 「防災道の駅」のイメージ・方向性(案)

災害協定の締結

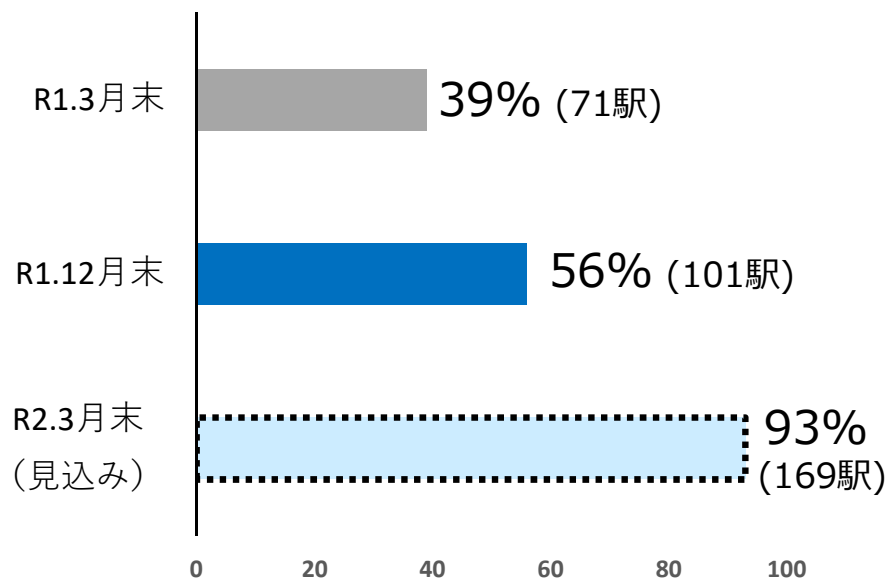
【取組内容】

- ・大規模災害時の協定（道路管理者⇔設置者等）の締結を推進

【実施目標】

- ・地域防災計画に位置づけのある「直轄道の駅」で今後3年間で締結予定

進捗状況（N=181）



防災訓練の実施

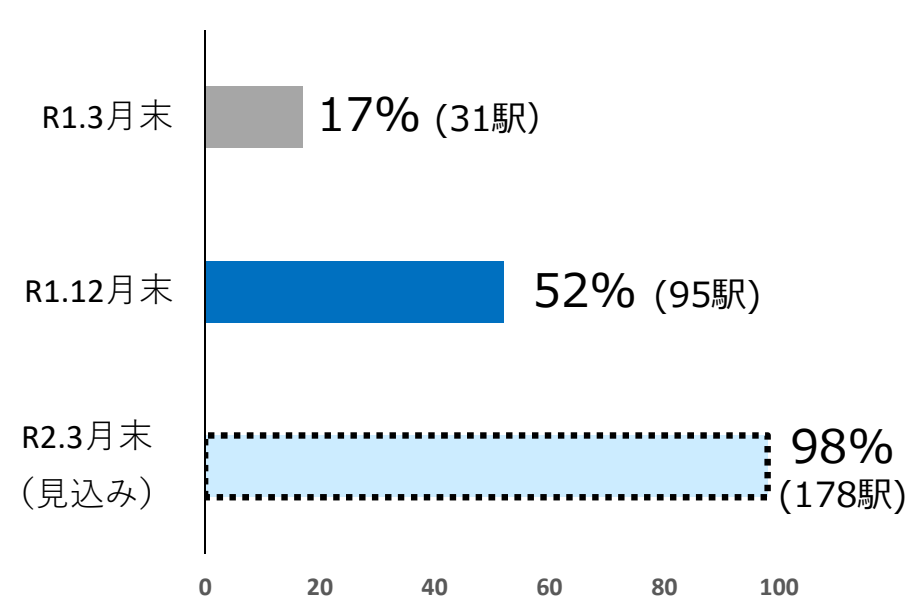
【取組内容】

- ・大規模災害を想定した訓練の実施を推進

【実施目標】

- ・地域防災計画に位置づけのある「直轄道の駅」で今後3年間で実施予定

進捗状況（N=181）



2020年夏頃





- 道路局で全国共通事項についてガイドラインを作成
- 各「道の駅」の設置者及び道路管理者にガイドラインを参考通知

2020年秋頃～

- 各「道の駅」の特性を踏まえたBCPについて、設置者と道路管理者が連携して検討・策定（全国道の駅連絡会で策定支援を実施）

策定目標

- 地域防災計画に位置づけられた道の駅を対象
- 直轄道の駅：3年以内に策定 地方の道の駅 5年以内に策定

	<p style="text-align: center;">耐震化 (トイレ・情報提供施設)</p>	<p style="text-align: center;">無停電化</p>
<p style="text-align: center;">対 象</p>	<p style="text-align: center;">地域防災計画に 位置づけられた道の駅のうち 耐震化が未了の道の駅</p>	<p style="text-align: center;">地域防災計画に位置づけられた道の駅のうち 無停電化の対策が未了の道の駅</p>
<p style="text-align: center;">対策 事例</p>	<p style="text-align: center;"><斜材による補強></p> 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p><非常用発電機></p>  <p>燃料:ガスor軽油</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><蓄電池システム></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><移動用発電機></p>  <p>燃料:軽油</p> </div> </div>

	<h2>貯水タンク、防災倉庫、防災トイレ</h2>			<h2>災害情報提供システム</h2>
<h3>対象</h3>	地域防災計画に位置づけられた道の駅のうち 防災機能（貯水タンク、防災倉庫、防災トイレ等）のない道の駅			全ての道の駅
<h3>対策事例</h3>	<h4>《貯水タンク》</h4> 	<h4>《防災倉庫》</h4> 	<h4>《防災トイレ》</h4> 	<h3>《道の駅災害情報提供システム》</h3> <p>道の駅における活動状況</p>  <p>道の駅の情報を集約し、発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 【道の駅 A】 ・トイレ 利用可 ・携帯電話の充電 ・炊き出し 〇人分 ・毛布 〇〇枚 ・シャワーの提供 等 <p>道路管理者 道路利用者 地域住民</p>

主な役割

広域的な防災拠点機能
を持つ道の駅

今回の「防災道の駅」のターゲット

地域の防災拠点機能
を持つ道の駅

約500駅

※リニューアル等に合わせた対策により拡充

その他の道の駅

全体1,160駅

大規模災害時等の広域的な 復旧・復興活動拠点



- 自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- 緊急物資等の基地機能
- 復旧、復興活動の拠点等

地域の一時避難所



防災道の駅

(参考) 地域の防災拠点機能をもつ道の駅

1. 他の計画での位置づけ

- ① **都道府県が策定**する広域的な防災計画
- ② 新広域道路交通計画（都道府県毎に策定）
（災害時のネットワーク強化と連携）

市町村が策定する地域防災計画

2. 施設の要件

<配置>

- ① **各都道府県に1～2箇所選定**（当面）
- ② 幹線道路へのアクセス性を考慮
※高速道路 I C、直轄国道 等
- ③ 災害ハザード区域の有無を考慮
※津波、洪水、火山、土砂災害 等

<仕様>

- ① 自衛隊等の救援活動のスペース
- ② 緊急物資等の集積・供給スペース
- ③ 緊急ヘリポート
- ④ 一時避難所としての施設 等

<配置>

- ・ 各市町村で地域の実情を踏まえて設定

<仕様>

- ・ 一時避難所としての施設
- ① ハード：耐震化、無停電設備、防災倉庫・トイレ
- ② ソフト：災害協定、防災訓練、BCP策定

3. 支援

- ① **「防災道の駅」として大臣認定**
- ② 交付金等での重点支援
（個別補助についても検討）

- ① 「道の駅」の登録要件に努力規定として追記
- ② 重点「道の駅」で他機能とあわせて重点支援

2020年春頃

- 道路局で「防災道の駅」の認定要件等を含めた制度内容を決定
- 地域での検討の参考となる道の駅の事例を提示

第3ステージ推進委員会で議論

2020年秋頃

- 都道府県毎に幹線道路協議会で具体箇所を検討※
- 各都道府県で「防災道の駅」案を策定(初回)

※ 新広域道路交通計画の枠組みを活用しネットワークをあわせて検討

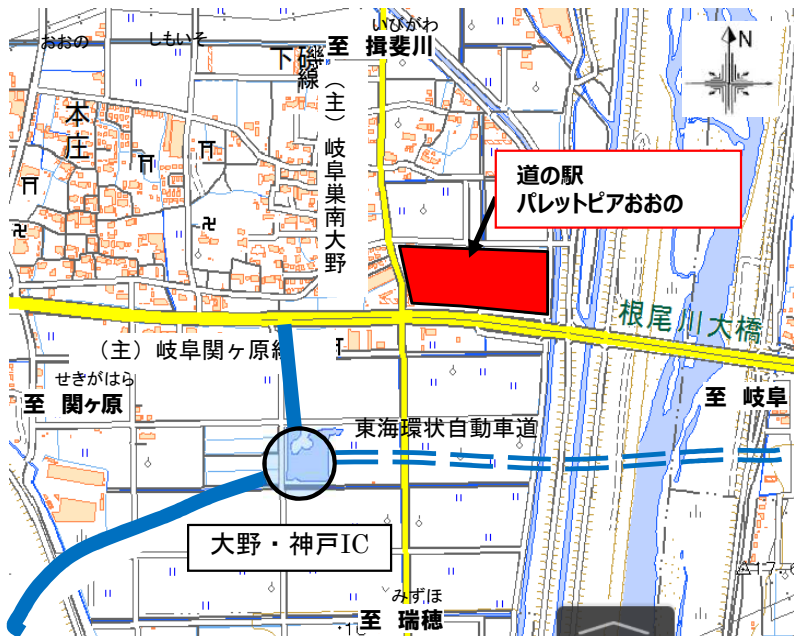
第3ステージ推進委員会で確認・意見

- 国土交通省で「防災道の駅」として認定(初回)

「防災道の駅」の整備支援・フォローアップ / 順次追加認定

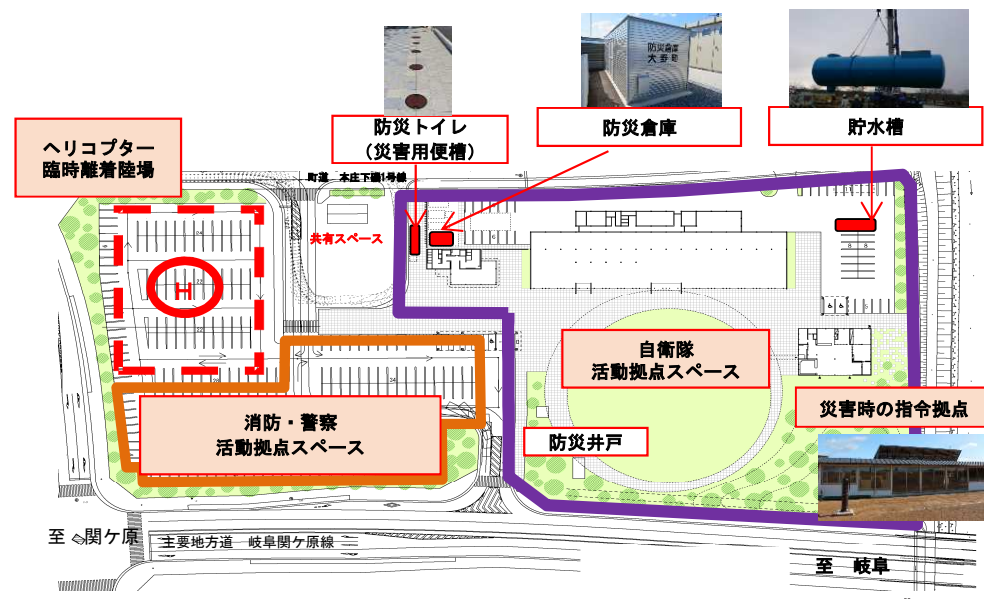
○「道の駅」パレットピアおおの (岐阜県大野町)

【位置図】



【広域的な防災拠点としての主な役割】

- ・ 消防、警察、自衛隊の活動拠点スペース
- ・ 広域医療搬送のためのヘリコプター臨時離着陸場
- ・ 災害応援要員の指令拠点となる施設



(参考)

- ・ 岐阜県では、東海環状自動車道の沿線市町に、広域防災拠点を「道の駅」も含めて10箇所指定。



【災害リスクへの対応】

- ・ 浸水エリア内に位置しているが、土地の高上げ(1.5~2.0m)、排水ポンプなどの対策を実施済み

○「道の駅」すさみ(和歌山県すさみ町)

【位置図】



【広域的な防災拠点としての主な役割】

- ・ 広域応援部隊の救助活動拠点
- ・ 緊急車両や支援物資が集まる防災拠点
- ・ ヘリポート (整備中)



(参考)

- ・ 和歌山県が策定する広域受援計画に、広域応援部隊の救助活動拠点として位置づけ。

重要物流道路を契機とした「新たな広域道路交通計画」の策定について

I 今後の道路計画の主な課題 (現計画※はH6策定、H10以降未改定) ※広域道路整備基本計画

- 新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や、ICT・自動運転等の技術の進展を見据えた未来志向の計画が必要。

新たな国土構造の形成

- ・ スーパーメガリージョンの実現
- ・ 中枢・中核都市等を中心とする地域の自立圏の形成 等

グローバル化

- ・ インバウンドへの対応
- ・ 国際物流の増加への対応 等

国土強靱化

- ・ 災害リスク増大への対応
- ・ 代替機能の強化の必要性 等

各交通機関との連携強化

ICT活用・自動運転社会への対応

II 新たな広域道路交通計画の策定

- 各地域において中長期的な観点からビジョン、計画を策定(定期的に見直し)

「平常時・災害時」を問わない「物流・人流」の確保・活性化

(1)

広域道路ネットワーク
計画



(2)

交通・防災拠点
計画

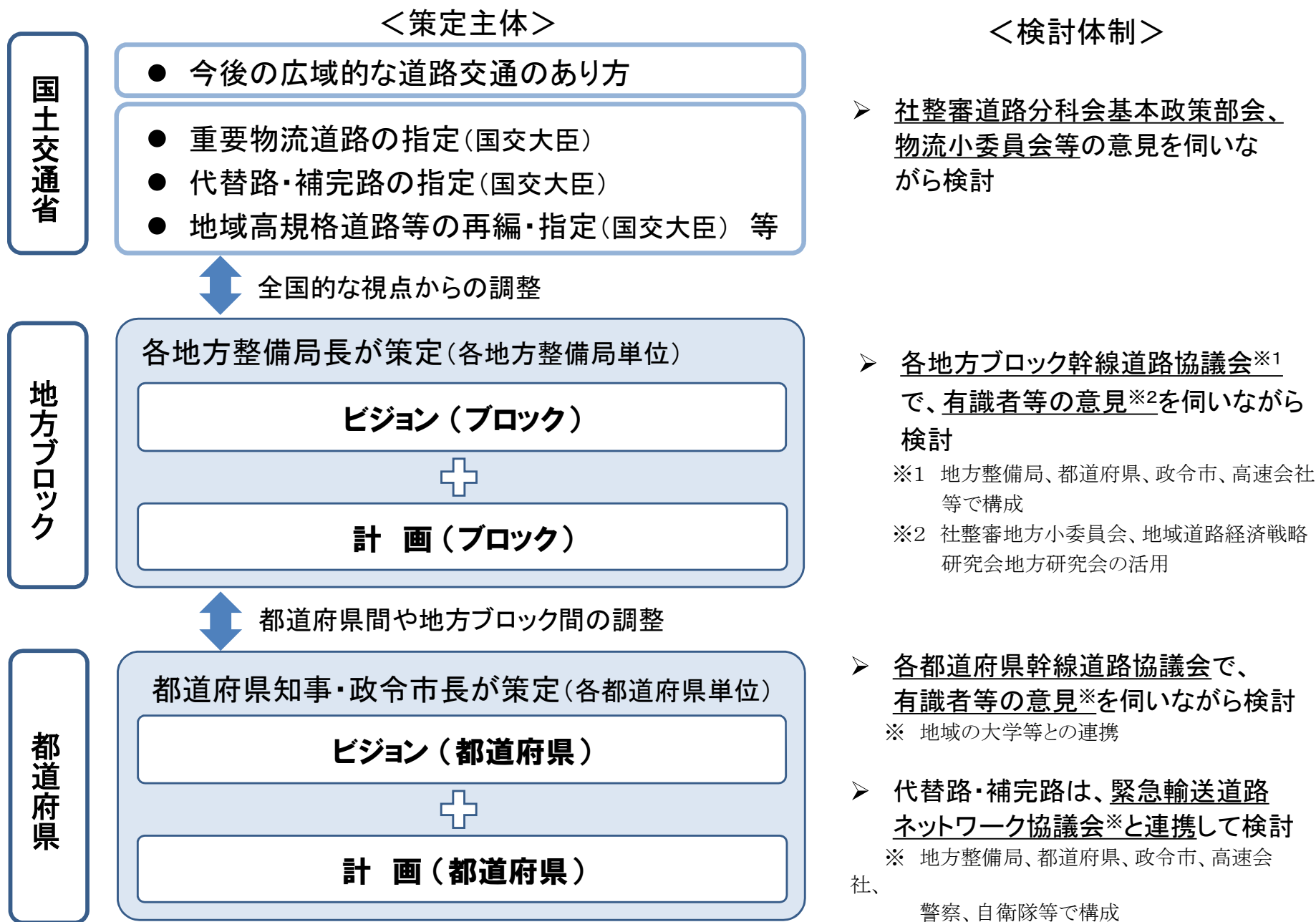


(3)

ICT交通マネジメント
計画

重要物流道路の指定・地域高規格道路等の広域道路ネットワークの再編 等

新たな計画の策定主体・検討体制



交通・防災拠点 / ICT交通マネジメント計画の主な検討の視点

<交通・防災拠点計画>

- 地域における中心的な役割を担う主要鉄道駅等の交通拠点について、利用者の利便性の向上や周辺道路の交通課題の解消を図るため、立体道路制度の活用による空間再編や総合交通ターミナルの整備等も含め、官民連携によるモーターコネク(多様な交通モード間の接続)の強化策に関わる計画を策定。
- 災害時の物資輸送や避難等の主要な拠点となる道の駅や都市部の交通拠点等について、災害情報の集約・発信、防災施設の整備など、ソフト・ハードを含めた防災機能の強化策に関わる計画を策定。



<ICT交通マネジメント計画>

- ICT等(ETC2.0含む)の革新的な技術を積極的に活用した交通マネジメントの強化に関わる計画を策定。
 - ・ 広域的な道路ネットワークを中心とした、平常時や災害時を含めたデータ収集や利活用の強化
 - ・ 他の交通機関とのデータ連携によるモビリティサービスの強化
 - ・ 主要な都市部等における面的な交通マネジメントの強化
 - ・ ICT等の活用に向けた産学官連携による推進体制の強化 等



- 今後の自動運転社会を見据えた、地域における新たな道路施策を検討するための推進体制や実験計画等について整理。